

第91回シンポジウム

「次世代自動車の車体軽量化における材料・加工技術の開発トレンド」 ～究極のマルチマテリアル車体を目指して～

地球温暖化防止、環境負荷物質低減、加えて資源枯渇対策などの低炭素社会の実現に向け、あらゆる分野での研究開発が加速されており、自動車においては、主にCO₂排出量削減のために、ハイブリッド車や電気自動車などの低CO₂技術車の開発、エンジンの高効率化などとともに、車両の軽量化が重要かつ緊急性の高い課題となっています。その方策のひとつが適材適所の考え方に基づくマルチマテリアル車体といえます。そこで本シンポジウムでは、各分野の専門家からアルミニウム合金材料をはじめ、ハイテン、CFRPなどの軽量化材料の自動車への適用動向と将来について解説いただきます。自動車の軽量化のみならず、各材料分野に関心のある、多数の方々のご参加をいただきますようご案内致します。

主催：一般社団法人軽金属学会

後援：公益財団法人軽金属奨学会

協賛：日本アルミニウム協会、日本マグネシウム協会、日本チタン協会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本材料学会、日本機械学会、日本塑性加工学会、日本鋳造工学会、日本自動車工業会、軽金属製品協会、軽金属溶接協会、自動車技術会、日本ダイカスト協会（予定）

日時：平成25年6月7日（金） 10:00～17:00

会場：日本大学理工学部駿河台キャンパス1号館121会議室

（東京都千代田区神田駿河台1-8-14 JR中央・総武線「御茶ノ水駅」下車徒歩3分）

定員：100名

参加費：正・維持・協賛学協会員 15,000円 学生会員 1,000円 非会員 25,000円 学生非会員 6,000円

申込先：軽金属学会ホームページ：<http://www.jilm.or.jp/> よりお申込下さい。

問合せ先：一般社団法人軽金属学会（〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-15 Tel 03-3538-0232 Fax 03-3538-0226）

プログラム：

10:00	開会の挨拶	企画委員会委員長 神戸洋史
10:05～10:55	1. 「マルチマテリアル化の動向と車体材料としてのアルミニウム材料への期待」 各自動車メーカーのマルチマテリアル車体の動向とその中のアルミニウム材料の状況および今後のアルミニウム材料への期待について説明する。	日産自動車(株) 千葉晃司氏
10:55～11:40	2. 「車体用アルミニウム合金展伸材の開発動向と適用事例」 ボディシート、バンパ、サスペンションアーム等の車体用に使用されるアルミニウム材料について説明するとともに新規開発されたスマートシートを紹介する。	住友軽金属工業(株) 伊藤清文氏
11:40～12:40	昼食	
12:40～13:25	3. 「ダイカスト品に対する要求機能と対応技術の動向」 ダイカストは自動車の軽量化などのニーズに適合して生産量を増やしてきた。ダイカストの機能に対する要求は高度化しており、対応技術の進化が求められている。ダイカストに要求される機能と対応技術の動向について解説する。	(株)アーレスティ 青山俊三氏
13:25～14:10	4. 「高張力鋼板適用動向と高効率ホットスタンプ製法の開発」 近年拡大している高張力鋼板の適用状況からホットスタンプ技術概要を交え、Hondaが開発した“高効率ホットスタンプ製法”を紹介する。	ホンダエンジニアリング(株) 斉藤和也氏
14:10～14:20	休憩	
14:20～15:05	5. 「Al・Fe異種材接合技術の開発動向と適用事例」 自動車軽量化には、材料固有の特徴を最大限に活かした適材適所化が望まれる。アルミニウム合金材と鋼材との異種金属接合もその達成に欠かせない技術の一つであり、その現状と当社の新開発接合技術について報告する。	(株)神戸製鋼所 松本 剛氏
15:05～15:50	6. 「素材がかわる。クルマがかわる。—先端材料が拓く未来—」 炭素繊維複合材料に代表される先端材料は、環境、安全、快適という側面でのどのように人々の生活に貢献できるのか、その可能性について次世代型コンセプトEV（電気自動車）“TEEWAVEARI”の実例を通じて解説する。	東レ(株) 山中 亨氏
15:50～16:00	休憩	
16:00～16:50	7. パネルディスカッション「自動車のマルチマテリアル化への展望」 材料エキスパートから見た軽量化・マルチマテリアル化の課題・将来展望について。	世話人・講師全員
16:50～17:00	閉会の挨拶	企画委員会委員長 神戸洋史

（世話人：古河スカイ(株) 大瀧光弘、ホンダエンジニアリング(株) 斉藤和也、日産自動車(株) 板倉浩二）